

巻頭言

わかやま子ども学総合研究センタージャーナル 第3号発刊に寄せて



和歌山信愛大学教育学部子ども教育学科
副学長・教育学部長 大山 輝光

和歌山信愛大学「わかやま子ども学総合研究センター」は、和歌山県における子どもの心身の成長・発達・生活・文化・教育・福祉・子育て支援等を総合的に研究する機関として大学開学に併せて設置され、今年度で3年目を迎えました。開設以来、当研究センターは、隣接する和歌山市の子育て支援複合施設（こども総合支援センター、本町こども園）をはじめ、和歌山県内の教育機関等と連携協力しながら研究を推進し、その成果を通して地域社会に貢献する役割を担っております。また当初より、教育・福祉分野の業務に従事している方を対象とした特別研究会員制度を設けるなど、本学に所属する研究者を中心に地域の皆様と共に歩を進めております。

現在、新型コロナウイルス感染症に伴う苦難が続いておりますが、特別研究会員や地域の皆様からの暖かいご協力によって、当研究センターは今年度も一步一步着実に取り組みを進めて参りました。その成果として、2022年3月5日には当研究センター主催によるシンポジウムをハイブリッド形式で開催し、最近の子どもに関わる問題の現状と課題について、教育と福祉の現場から報告頂きました。また、この度発行する本ジャーナルにおいても、本学教職員のみならず特別研究会員や本学学生まで多くの方々に論文を投稿頂くなど、大きな広がりを見せております。

新学習指導要領の実施や大学入試改革、教育DXなど大きな変革期にあって、当研究センターの役割は今後ますます重要になって参ります。本ジャーナルによって最新の研究成果を皆様と共有し、和歌山県の子どもの学究の発展に寄与することを願っております。今後とも、わかやま子ども学総合研究センターへのさらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。